

平成19年度 宇都宮市社会福祉審議会 第2回児童福祉専門分科会 議事録

日時：平成20年2月18日（月）

午前9時30分～午前10時30分

場所：市役所 14A会議室

【出席者】伊達悦子委員（分科会長）、瀬尾充男委員（職務代理者）、  
福田智恵委員、安納ミヤ子委員、直井克仁委員、齋藤誠一委員、  
半田均委員、今井恭男委員、鎌倉三郎委員、本間直子委員

【欠席者】加藤佳子委員、佐藤和子委員、石嶋勇委員

【事務局】〔児童福祉課〕高橋課長、上野主幹、君島課長補佐、  
鈴木企画係長、吉澤児童育成係長、平塚保育係長、  
伊沢家庭福祉係長、小林総括主査、加藤主任、  
手塚主任主事、蓬田主事

〔健康増進課〕鈴木課長

〔障がい福祉課〕荻田課長

〔住宅課〕大森課長

〔生涯学習課〕赤石澤課長補佐、星宮主任主事

【傍聴者】なし

発言者	進行内容
児童福祉課長補佐	会議次第「1 開会」
伊達分科会長	会議次第「2 議事（1）合併等に伴う行政計画の見直しについて」事務局より説明をお願いします。
	（事務局より説明）
伊達分科会長	「中高生と乳幼児のふれあい交流事業」は以前にも好評だったと聞いているが、学校が休みのときに利用しているのか。
事務局	学校が長期休業の時や土曜日に行っている。 講座など関心を持って来て頂いている。
伊達分科会長	総合学習との関係でのカリキュラムとか、そういうものは一切ないのか。

事務局	学校の授業の一環ではなく、生徒自らが意思的に子育て支援、保育園に向いて子供とふれあうことによって命の大切さを学ぶということ。
伊達分科会長	そういう授業に参加する生徒は、積極的に興味を持って参加してくるが、関心のない生徒が命の問題にふれる機会を設定していく必要がありそうだと、現場（中学校）にいると感じる。
事務局	高校の場合は授業の一環と、先生の自主的・意欲的なものもある。ある学校では200名～300名がサロンの体験と保健指導（青少年の性）を併せて授業の延長として取り組んでいる。
伊達分科会長	子どもが生まれたところを見る機会は少ないが、何ヶ月とか一年とかの単位で関わりを持ち、赤ちゃんが育っていく過程を見ることが出来ると子どもたちにとってためになると思う。  その他質疑、意見はないか。 それでは、「議事（2）次世代育成支援対策地域協議会の設置について」事務局から説明をお願いします。
事務局	（事務局より説明）
鎌倉委員	趣旨は理解したが、協議会は市内39地区に作るということか。
事務局	企業などの代表の方たちを加えて、宇都宮市全体で作る。
鎌倉委員	作ることに反対はしない。よいメンバーを選出してほしい。
伊達分科会長	その他質疑、意見はないか。 それでは、「議事（3）保育費扶養者負担金（保育料）の基準額等の改定について」事務局から説明をお願いします。
事務局	（事務局より説明）
伊達分科会長	意見質問等あるか。  減免について、今実際に当てはまるケースはどの程度か。
事務局	ほとんどない。

伊達分科	専門的なことになるが，委員から質問は。
齋藤委員	災害の適用要件で同等の支出が生じる場合とあるが，火事で家を焼失した場合，家を建て替えるという意味になるのか。家が焼失してアパートに移った場合は該当にならないのか。
事務局	持ち家が焼失した場合，建て替えだけでなく，別のところに住むケースも考えられる。保育料は前年の所得税で決まるので，災害減免法で所得税が控除されるのであれば，建て替えの場合と同等とみなしていく。
本間委員	新聞などで保育料や給食費の滞納の問題が取り上げられているが，保育園在園の親の収入の割合について公表していたか。
事務局	在園している家庭の収入の割合は公表していないが，今回の減免制度の改正にあたり調査したところ，2月現在で，国の第6階層が34%，第4階層は24%である。
本間委員	<p>保育園に在園している家庭の母の雇用形態（正職員・パートなど）の割合に，少子化の関係で興味がある。</p> <p>夫婦ともにフリーターという相談ケースでは，保育料も減免になっていると思うが，子どもを保育園に預けると少ない中でもお金を払うことになる。今実際どういう人たちが子どもを預けて働いているのか，子育て支援は具体的に必要なのはどういう人たちなのか知りたかったので質問した。</p>
伊達分科会長	就労時間において，保育園入所の要件があるか。
事務局	<p>保育に欠ける基準では正社員，パート，アルバイトは関係なく週4日，一日4時間以上働いていることが入所の条件である。</p> <p>補足になるが，前に第6階層を34%と説明した割合は，所得税課税世帯の中での割合である。非課税世帯は別にした数値である。</p>
本間委員	保育料の軽減をしていくことは重要であるが，待機児の問題や財政が厳しいという状況がある中，保育園に入れないと働けず，所得がなくなる状況があるので保育所が支えているにも関わらず，保育料が高いという人が多い。保育所で子どもを1人預かると100万以上かかると言われている。相談を受ける中で，預かってくれる保育所はありがたいと思って欲しい，と思う。

事務局	<p>制度を整えるにはお金がかかる，システムを維持するには税金がかかるということを相手に負担にならない方法で知ってもらうことが大切だと思う。保護者や子どもたちにも色々なシステムや税金で支えられていることを知ってもらいたい。</p> <p>今回収納対策を進めていく中でも保育料の仕組みを説明している。このようなことを知ってもらうことは必要だと思うので，更に理解をいただけるよう進めていきたい。</p>
伊達分科会長	<p>しかるべき窓口であればその説明ができると思うが，そうでないところでは難しい部分があるかもしれない。</p> <p>母子手帳の中に副読本が渡される。子どもを持ったときに親が一番読む可能性が多いとされている。1980年代に大改正があり，子どもの要求にできる限り応えていく方向に変わった。その世代が親になっていることもこういった時代背景の一つである。説明は必要だと思う。</p> <p>保育料の軽減率はなぜ市町村に開きがあるのか。</p>
事務局	<p>国に一定の基準があるが，それぞれの市町村の子育て支援の一環として独自に設定しているため差が生じる。</p>
伊達分科会長	<p>該当する子どもの年齢比なども考慮した結果なのか</p>
事務局	<p>そういったこともあれば，単純に保育料を安くしている市町村もある。あるいは年齢によって減免をしている市町村もある。</p>
伊達分科会長	<p>減免のケースはあまりないようなので，財政に大きく影響はなさそうだが，保育料の新基準についてご意見があるか。</p>
直井委員	<p>軽減率が中核市で7番目は素晴らしい。子育て支援を進めていく中で，保育料は親にとって重要なので，これからももっと頑張ってほしい。</p>
伊達分科会長	<p>他になければこの議題について終了する。</p> <p>その他質疑，意見はないか。</p>
伊達分科会長	<p>事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>来年度から企業の方，地域の方を含めた連携を図るため地域協議会を設立</p>

伊達分科会長	<p>する。皆様にも委員として協力願いたい。</p> <p>また今後，次世代育成支援行動計画の後期計画策定に着手するため，現行計画の評価をお願いします。</p> <p>さらに，今後とも児童福祉分野において審議をよろしく願いたい。</p> <p>今後も引き続きよろしく願いたい。</p> <p>会議次第「3 閉会」</p>
--------	--